

酒々井中学校

所在地 尾上141番地の10
電話 496-1040
開校 昭和22年
校長 中村 太一郎
(令和4年度就任)

生徒数	463人 [5月1日現在]
学級数	17 (特4含む) 学級
職員数	42人 (学校要覧)



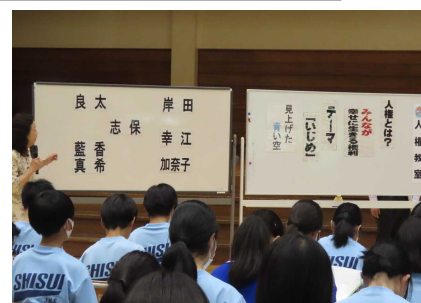
●経営の重点

子どもは学校で学び、家庭でしつけ、地域で育つ

教育目標

自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成

- ① 生徒一人一人を固有な存在として尊重し、調和のとれた人間形成を目指した教育を推進する。
【大前提】
- ② 楽しく安定した学校生活の構築に努める。
【学校生活の基盤】
- ③ 人権教育を柱に道德教育を推進し、豊かな心と社会性を育む教育に努める。【心を耕す】
- ④ 確かな学力の定着と意欲の向上を目指し、生涯学習の基礎となる学力の保障に努める。【学力向上】
- ⑤ 学校行事等を軸に、日々の学校生活の向上を目指す意識・意欲の醸成を図る。
【学校文化の継承】
- ⑥ 保小中連携及び家庭や地域との連携を推進し、開かれた学校づくりに努める。
【連携推進】
- ⑦ 指導的立場にあるものとして教職員自らの資質能力の向上や使命感の高揚に努める。【教師への信頼】



「人権教室」

●学校の特徴

- ① 全学年で共通した「自主ノート」を配布し、その活用を通して家庭学習の習慣づくりや質の向上を目指した指導を行う。また、学習の見通しを持って取り組ませるために、学習ガイダンスにおいて、「学びの羅針盤」の活用を図る。さらに、学習優先日を設定し、数学・英語の補充学習を実施する。
- ② 数学（2・3学年）では、習熟度別少人数授業によって、個に応じたきめ細かな指導を行う。

- ③ 毎朝10分間の朝の「読書タイム」を実施する。
- ④ 3学年生徒を対象に、英検受検料の1回分補助を受ける。また、全学年を対象に、英検と漢検受検料の一部補助を受けることにより、学力向上への意欲化を図る。
- ⑤ 「目指そうあいさつ日本一」を掲げ、生徒会活動を中心に明るく礼儀正しい生徒の育成を図る。
- ⑥ 不登校支援教員を中心に校内適応指導教室の効果的運営に努めるとともに、スクールカウンセラーと連携した適応指導に努める。
- ⑦ 人権教育を教育活動の柱に据え、人権集会や人権作文の取り組みを通して、生徒の人権意識の涵養を図る。
- ⑧ 町保小中連携推進協議会の組織を活用した小中連携を推進するとともに、小中児童生徒の直接交流を積極的に行い、円滑な接続を図る。
- ⑨ 地域学校協働本部コーディネーターを中心に、地域ボランティアを活用した教育活動を推進する。